

# なかむらとくべつしえんがっこうだより

よこはましりつなかむらとくべつしえんがっこう  
横浜市立中村特別支援学校

こうりゅう じんけん ぶ  
交流・人権部

2022年<sup>ねん</sup>3月<sup>がつ</sup>

## 『 一歩ずつ 』

よこはましりつなかむらとくべつしえんがっこう  
横浜市立中村特別支援学校

こうちょう きくもと じゆん  
校長 菊本 純

れいわ ねんど さくねん ひ つづ おお えいきょう ねん なつやす あ りんじ  
令和3年度も昨年に引き続き、コロナウイルスに大きく影響された1年となりました。夏休み明けには臨時  
きゆうこう ぶんさんとうこう おさ かんせん じょうきょう ふあん おほ かた  
休校や分散登校になりました。なかなか収まらない感染の状況に不安を覚えた方もたくさんいたのではない  
かと思います。そのような中でも救いだったのは、元気に登校してくる皆さんの姿を見ることでした。

すこ たいおう しかた あんしん がくしゅう かんきょう とどの  
少しずつですが、コロナウイルスへの対応の仕方もわかってきて、安心して学習できる環境が整ってきました。  
また、GIGAスクールが始まったことで、タブレット等を使った取り組みやオンラインの利用が広がってきま  
した。それらは交流活動にも利用が広がってきています。

なかむらしょうがっこう こうりゅう しゅうだん ちよくせつこうりゅう おこな すこ はな じ こしょうかい  
中村小学校との交流は、集団での直接交流はまだ行っていませんが、少し離れたところで自己紹介をし  
たり、タブレットを用いて交流を行ったりすることができました。また、昨年度は参加できなかった中村オリンピ  
ックでは、直接児童生徒が触れ合うことはできませんでしたが、演技を行い、頑張っている様子をたくさん  
かた み  
方に見ていただくことができました。

ふくがくせきこうりゅう かんせつてき こうりゅう もち こうりゅう すこ ひろ ちよくせつこうりゅう  
副学籍交流も間接的な交流やタブレットを用いた交流など、少し広げることができました。直接交流できた  
じどう  
児童もいました。

ふたた えんぼうし ち と えいきょう おお あたら ほうほう ふく いっぽ  
再びまん延防止措置が取られるなどまだまだコロナの影響は大きいですが、新しい方法も含めて、一歩  
ずつですが、あゆ はじ  
歩みが始まっています。これからも、あんぜん だいいち かんが こうりゅう じゅうじつ  
安全を第一に考えながら、交流の充実をはかっていき  
いと かんが りかい きょうりよく ねが みな いっしょ かんが おも  
と考えています。ご理解とご協力をお願いするとともに、皆さんと一緒に考えていければと思っています。  
ねが  
どうぞよろしくお願いたします。



そつぎょうせい ほごしゃ がっこうせいかつ ふ かえ おも きこう  
卒業生の保護者に、学校生活を振り返っての思いを寄稿していただきました。

『 「ありがとう」中村！！ 』

こうとうぶ ねん ひらま さくら  
高等部3年 平間 さくら  
ひらま ゆかり  
平間 愉佳季

ねんまえ しゅう う ふくちよくきんりかい な こえ う こねこ  
17年前42週でやっと生まれたさっちゃん。腹直筋離開があり泣く声は「ひゃあ、ひゃあ」と生まれたての子猫  
のようでした。おうだん つよ しだい はこ かお はは こ はな ぼな  
黄疸が強くすぐに市大へ運ばれ、顔を見ることができずに母と子は離れ離れになってしまいま  
した。しゅっさんご からだ いた しんばい ふあん こころ ひめい まいにちまいにち な わたし  
出産後の体の痛みより心配と不安で心が悲鳴をあげ、毎日毎日泣いてばかりいました。そんな私をみ  
てしゅじん しせつ しせつ おも おも ことば いま おぼ  
て主人は、「施設にいれるの？」思いもしていなかったその言葉にはっとしたのを今でも覚えています。  
せいご かげつころ ほっさ はじ おやこ ほっさ たたか はじ のうりょうだんじゅつ しょく なに  
生後3ヶ月頃てんかん発作が始まり、親子の発作との戦いが始まりました。脳梁離断術、ケトン食と何かで  
きることはないかと必死でした。ぐんはつほっさ つづ きゅうがい わら げんき  
群発発作が続くと救外にかけこみ、おちつくとゲラゲラと笑い、ゴロゴロと元気  
なむすめ ほっさ ほっさ たいせつ むすめ おし  
な娘をみて発作とうまくつきあっていくことが大切であると娘から教えてもらいました。  
がっこう なかむら すこ とお かていてき ふんいき やさ せんせいがた き  
学校は「中村！！」。少し遠くではあっても家庭的な雰囲気と優しさいっぱい先生方をみて決めていま  
した。このねんかんあいじょう そそ よ たいせつ そだ  
12年間愛情いっぱい注がれ、さっちゃんの良いところをたくさんみつけ大切に育てていただいたこと  
にこころ かんしゃ きた さ よう かお みんな たの ちからづよ き  
に心から感謝しています。これからも北に咲くチシマザクラの様に香りで皆を楽しませ、力強く咲きほこって  
ほ ねが  
欲しいと願っています。



## 『もう12年』

高等部3年 福沢 南  
福沢 英世

小学部6年、中等部3年、高等部3年と12年が過ぎました。1年1年が長く感じた年、そして短く感じた年もありました。過ぎてしまうと、あっという間の12年間でした。

1000g未満で生まれた赤ちゃんを超出生体重児と呼ぶそうです。まさに595gで生まれた南ですが、新生児医療の進歩により救出されました。出産当時保育器の中で泣いていた南を思い出します。どうして泣いているんだろうと看護師さんに聞くと、「きっとお腹が空いているのよ」と言われました。急激な体重増加を抑えるために、1回のミルクの量が2cc~3ccぐらいでした。それでも半年ぐらいで退院できました。

今でも突然具合が悪くなり入院したりして親や先生方に心配をかけることも、あります。

南も学校での、中村オリンピックや遠足や修学旅行などの楽しいイベントに参加できたこと、数え切れないほどの出逢いや、思い出が沢山ありました。

先輩や同級生や後輩そして保護者と共に過ごした、中村特別支援学校の12年間は、先生方はじめ通学バススタッフの皆様、様々な立場の人々が協力して育てて頂いた事に感謝申し上げます。

これからまた新しい生活が始まります。

不安と心配が多々ありますが優しく見守っていきたくと思います。



むすめ がっこう  
『娘の学校』

こうとうぶ ねん やまにし あ おい  
高等部3年 山西 亜緒依  
やまにし ふみこ  
山西 文子

ねんまえ わたしたち よこはま ひっこ き  
18年前、私達は横浜に引越して来ました。

にゅうがく じたく す へいぼん まいにち なかむら にゅうがく ほうもん がっこうせいかつ じたく  
入学するまでは、自宅で過ごす平凡な毎日。中村に入学し訪問での学校生活がスタートしました。自宅で  
じゆぎょう う ひび ころ せんせい かえ な すがた み つうがく き  
授業を受ける日々、いつの頃からか先生が帰ると泣くようになり、その姿を見て通学することを決めました。

ねんせい おやこ かよ せいかつ きょうしつ せんせい ともだち こえ にぎ まいにち とも  
4年生から親子で通う生活がスタートしました。教室は先生や友達の声であふれ賑やかな毎日でした。共に  
まな たの ゆた じゆぎょう むすめ がっこう だいす  
学ぶ楽しみやアイデア豊かな授業に娘はどんどん学校が大好きになりました。

そつぎょうまぢか つ そ かいじょ ねが かな むすめ じりつ つうがくせい そつぎょう むか  
卒業間近には、付き添い解除の願いも叶い、娘もやっと自立した通学生で卒業を迎えることができました  
た。また、給食のミキサー食も始まり中村での願いはほぼ叶った事がとても嬉しかったです。(ただ1つの  
こころのこ しゅうがくりょこう わら  
心残りは修学旅行だけですが…(笑))

ほごしや みなさま たいへん せわ ことばすく きも さつ りかい あんしんかん  
保護者の皆様にも大変お世話になりました。言葉少なくとも気持ちも察してもらえ、理解してもらえる安心感  
にいつもホッとさせられました。控え室は笑いの絶えない元気スポット！！楽しかったな。。。。

むすめ がっこう おやこ おも で にゅうがくとうしよ そうぞう むすめ  
娘の学校ですが、親子それぞれたくさんの思い出ができました。入学当初は想像もできなかった娘の  
せいちょう み でき しどう せんせいがた むすめ たずさ すべ  
成長を見ることが出来たのも、ご指導いただいた先生方のおかげであり、娘に携わっていただいた全ての  
みなさま かんじや きも  
皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

